

# ★チャレンジ!夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

## 子ども読書の日

昨日4月23日は「子ども読書の日」です。この日は、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」で定められました。文部科学省では毎年4月23日に「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催しています。また、4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」とされています。今の時期、公立図書館や書店に行くと子ども向けの本が充実しているのは、こうした背景があるからではないかと思います。

昨日、1・2年複式学級で校長が大型絵本を使って読み聞かせをしました。4人の子どもたちは、絵をみながら笑顔で聞いてくれました。

子どもの学力を育てるために、小さい頃から身に付けておきたい習慣の一つとして読書があります。子どもの言語能力を育成することは、国語だけでなく、他教科の学びにも役に立ちます。なぜなら、小学校では算数も社会も理科も日本語で学ぶからです。母国語の能力は、全ての学力の基礎と言えます。本校では「集中力を身に付ける」「語彙を増やす（言葉が豊かになる）」ことを目的に朝読書に取り組んでいます。



また、読書には、学力の向上だけでなくコミュニケーションを豊かにするという効果もあります。登場人物の気持ちを読み取ることによって、人の気持ちを感じとったり、共感したり、語彙が増えることで自分の気持ちを言葉にして伝えることができるようになったりします。本を通じていろいろな思いや感情に出会い、言葉も人間関係も豊かになる力が読書にはあります。

ただし、読書を強制すると子どもは読書嫌いになります。子ども自ら「読書は楽しい」と感じる事が大切です。そのためには、教職員を含めた身近な大人が楽しく読書をし、本を読む楽しさを味わわせることが必要ではないかと思います。身近な大人が楽しそうにしていると、子どもは気になるし、まねをします。こうして身近な大人が子どもに手本を見せることこそが教育ではないでしょうか。こうして育った子どもは、やがて大人になったときに、我が子に同じように伝えていくのではないかと考えています。

### お知らせ

明日4月25日（木）は、大仙市・仙北市・美郷町の教職員による研修会が行われるため、3校時限（11時10分）で終了になります。給食もありません。